1.5 注目すべき種の分布状況

近年、ペットショップなどで購入した国外外来種が、逃げ出す、野外へ遺棄されるなどして、 本来は日本に生息しない種が侵入し、在来種との競合など生態系に深刻な影響を与えるケース がみられます。

ここでは、このような、主にペットとして飼育されている国外外来種の確認状況について整理しました。

【飼育(ペット)由来の国外外来種】

(魚類調查)

コイ (飼育品種)、タイリクバラタナゴ、キンギョを確認

国外外来種の中でペット由来と考えられる種のうち、特定外来生物に指定されていない種について確認状況を平成24年調査の直轄32河川で整理しました。また参考として、古くからペットとして親しまれてきたキンギョについても確認状況を整理しました。

コイ (飼育品種) は、今回とりまとめを行った 32 河川のうち、9 河川で確認されました。 タイリクバラタナゴは、今回とりまとめを行った 32 河川のうち、15 河川で確認されました。 た。キンギョは、今回とりまとめを行った 32 河川のうち、1 河川で確認されました。

(資料掲載:1-54~1-74ページ、1-77~1-78ページ)

1	~ 5 X F	調本の	確認河口	数の比較
	\sim :) \sim \sim	1 部间/白~(/	7個年歌公4月7日	1344 (7.7) 1.1. 1975

種類	1巡目調査	2巡目調査	3巡目調査	4巡目調査	5巡目調査
	(76 河川)	(119 河川)	(122 河川)	(123 河川)	(53 河川)
ブラックアロワナ	1 河川	0 河川	0 河川	0 河川	0 河川
7 7 9 9 7 4 9 7	[1.3]	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.0]
レピソステウス属	0 河川	0 河川	0 河川	1 河川	0 河川
レレノヘナリへ病	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.8]	[0.0]
コイ (飼育品種)	8 河川	12 河川	17 河川	27 河川	14 河川
コイ (即月m浬/	[10.5]	[10. 1]	[13. 9]	[22.0]	[26. 4]
タイリクバラタナゴ	33 河川	75 河川	75 河川	76 河川	24 河川
<u> </u>	[43.4]	[63. 0]	[61. 5]	[61. 8]	[45. 3]
グッピー	1 河川	2 河川	1 河川	4 河川	2 河川
7 9 6	[1.3]	[1.7]	[0.8]	[3. 3]	[3.8]
キンギョ	7 河川	16 河川	14 河川	8 河川	4 河川
7 7 7 3	[9. 2]	[13. 4]	[11. 5]	[6. 5]	[7.5]
パロットファイヤー	0 河川	0 河川	0 河川	1 河川	0 河川
シクリッド	[0.0]	[0.0]	[0.0]	[0.8]	[0.0]

[※]確認河川数の比較は、調査実施全河川のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。

- ※() 内は調査実施河川数を示す。
- ※〔〕内は確認河川数の調査実施河川数に対する割合(%)を示す。
- ※5巡目調査のデータはH23、H24調査の合計

^{※1~4}巡目調査のデータは、調査実施全河川のうち、種名等について真正化され、河川環境データベースに格納されている調査データを対象にした。

1~5巡目調査の確認地区数の比較

種類	1 巡目調査	2 巡目調査	3 巡目調査	4 巡目調査	5 巡目調査
	(565 地区)	(938 地区)	(993 地区)	(918 地区)	(450 地区)
ブラックアロワナ	1 地区	0 地区	0 地区	0 地区	0 地区
	〔0.2〕	〔0.0〕	〔0.0〕	[0.0]	〔0. 0〕
レピソステウス属	0 地区	0 地区	0 地区 〔0.0〕	1 地区 〔0.1〕	0 地区 〔0. 0〕
コイ(飼育品種)	8 地区	19 地区	24 地区	42 地区	32 地区
	〔1.4〕	〔2.0〕	〔2. 4〕	〔4.6〕	〔7. 1〕
タイリクバラタナゴ	132 地区	307 地区	315 地区	251 地区	97 地区
	〔23. 4〕	〔32. 7〕	〔31. 6〕	〔27. 3〕	〔21. 6〕
グッピー	1 地区	2 地区	1 地区	4 地区	1 地区
	〔0.2〕	〔0.2〕	〔0.1〕	〔0.4〕	〔0. 2〕
キンギョ	11 地区	29 地区	17 地区	12 地区	3 地区
	〔1.9〕	〔3.1〕	〔1.7〕	〔1.3〕	〔0. 7〕
パロットファイヤー シクリッド	0 地区	0 地区	0 地区 〔0.0〕	1地区 [0.1]	0 地区 〔0. 0〕

- ※確認地区数の比較は調査実施全地区のうち、直轄管理区間のデータを対象とした。
- ※1~4巡目調査のデータは、調査実施全地区のうち、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。
- ※() 内は調査実施地区数を示す。
- ※ [] 内は確認地区数の調査実施地区数に対する割合(%)を示す。
- ※5巡目調査のデータはH23、H24調査の合計

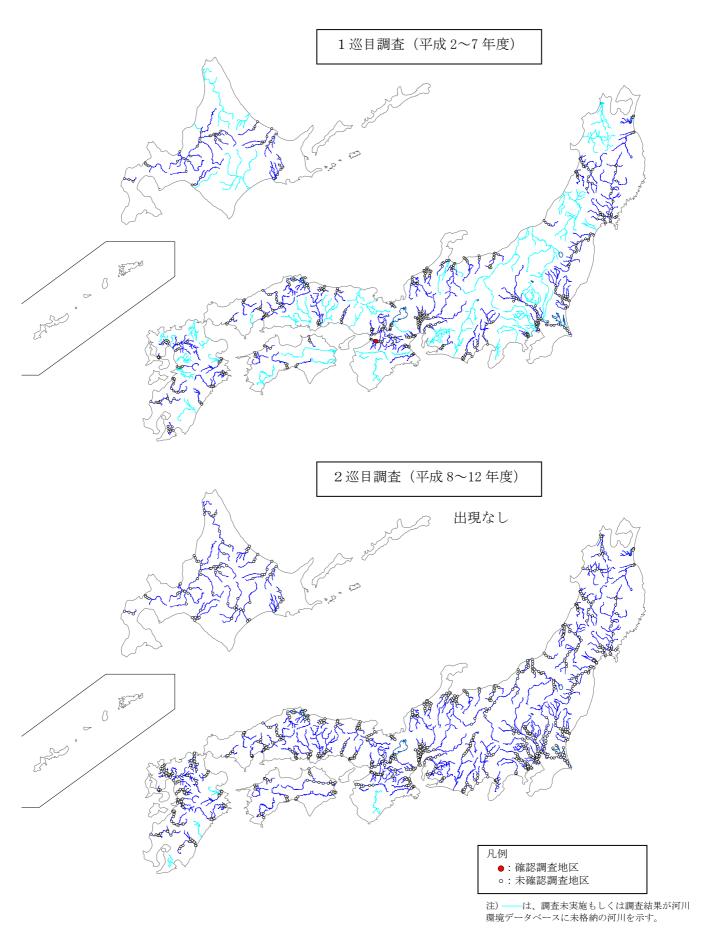
ブラックアロワナは南米原産で、観賞魚として人気があります。今回とりまとめを行った32河川では確認されませんでしたが、1巡目調査で1河川、1地区で確認されています。

コイ (飼育品種) は、カガミゴイ、カワゴイなどを含みます。今回とりまとめを行った 32 河川のうち、9 河川で確認されました。また確認地区では 24 地区で確認されました。確認河川数の割合は 2 巡目調査 10.1%、3 巡目調査 13.9%、4 巡目調査 22.0%、5 巡目調査 26.4%で、増加の傾向がうかがえました。なお現在河川に生息するコイの多くは、飼育品種や外来のコイとの交雑であることが知られていますが、ここでのコイ (飼育品種) は、体色等で明確に飼育品種とわかる個体としました。

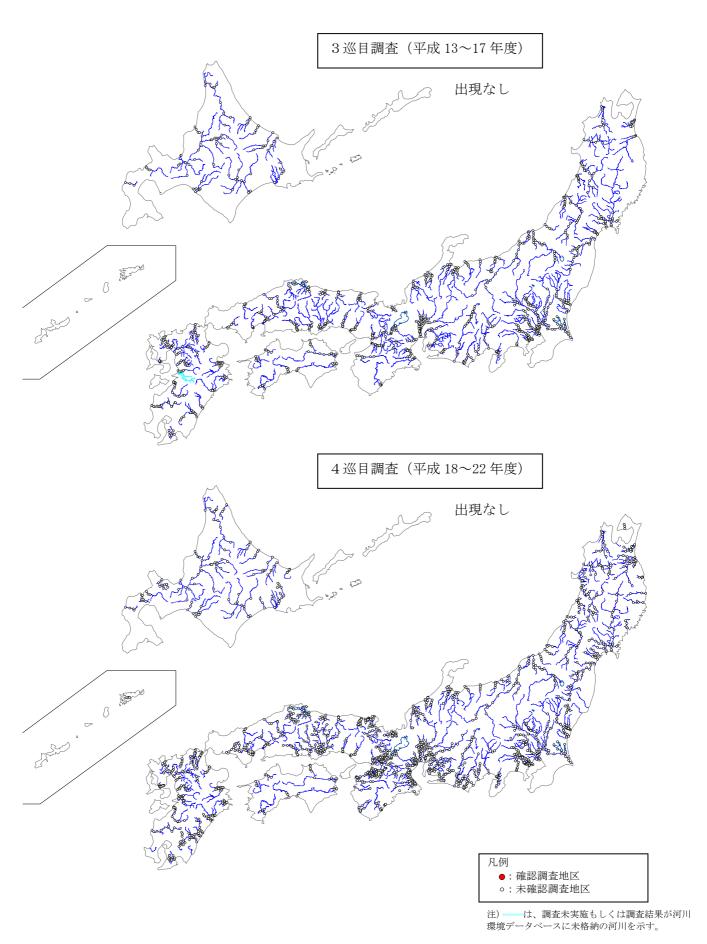
タイリクバラタナゴは、今回とりまとめを行った32河川のうち、15河川で確認されました。 また確認河川数の割合は2巡目調査以降60%台で推移し、今回とりまとめを行った他の3種と 比較して広い範囲で生息が確認されています。

グッピーは、今回とりまとめを行った 32 河川では確認されませんでしたが、確認河川数の割合は 2 巡目調査以降増加傾向にあります。

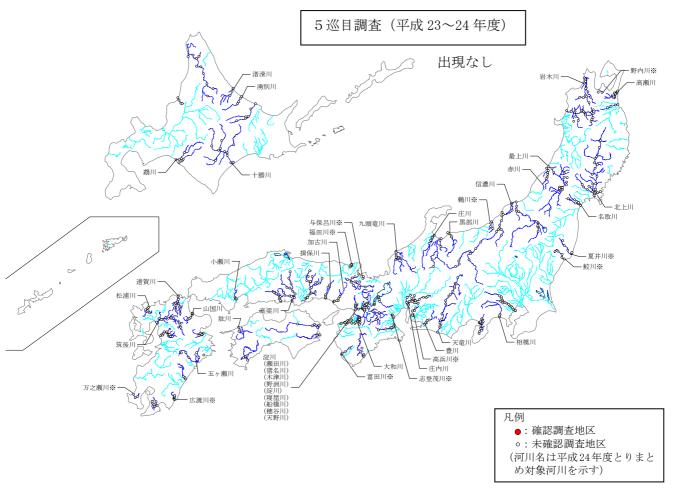
キンギョは、今回とりまとめを行った 32 河川では 1 河川の確認でした。なおキンギョについては、体色や体形で明確にキンギョとわかる個体を対象としました。また、パロットファイヤーシクリッドは台湾原産の交雑品種で、観賞魚として人気があります。今回とりまとめを行った 53 河川では確認されませんでした。



ブラックアロワナの確認された地域 (1巡目調査、2巡目調査)

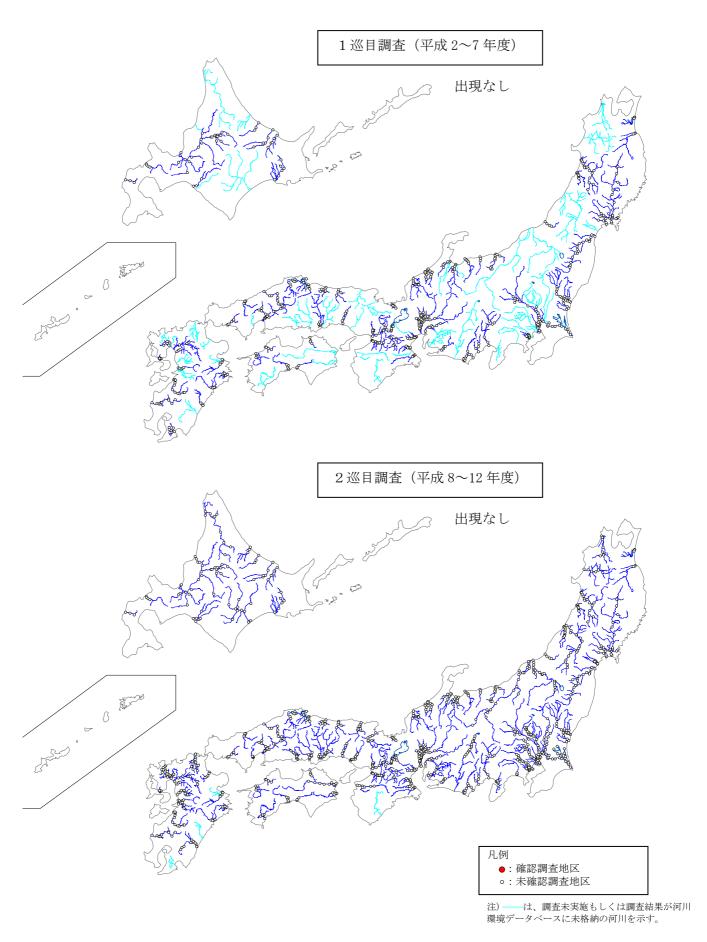


ブラックアロワナの確認された地域 (3巡目調査、4巡目調査)

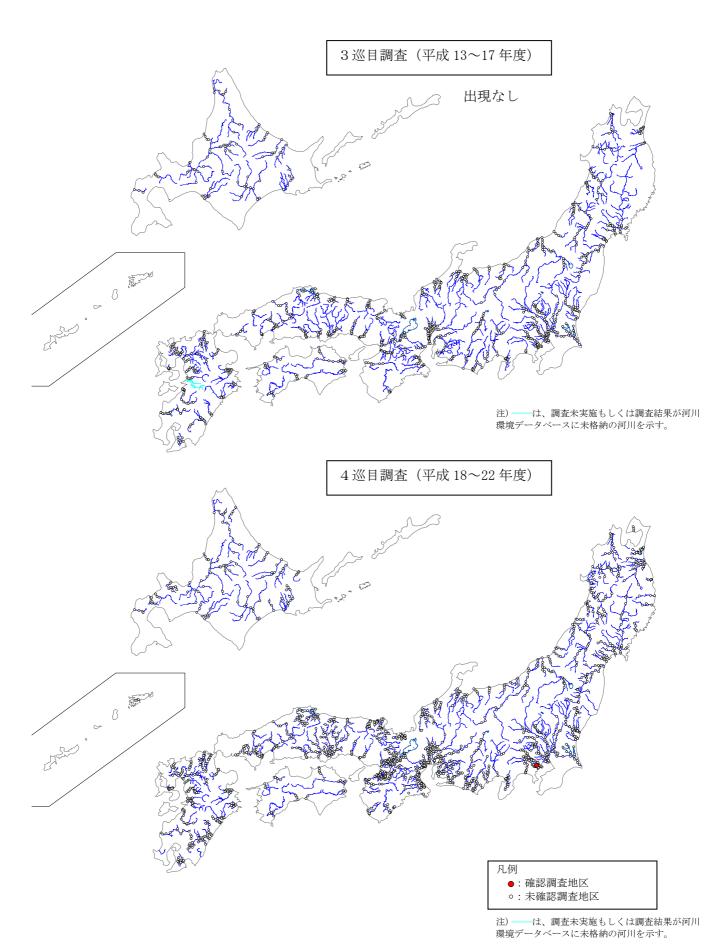


は、調査未実施の河川を示す。

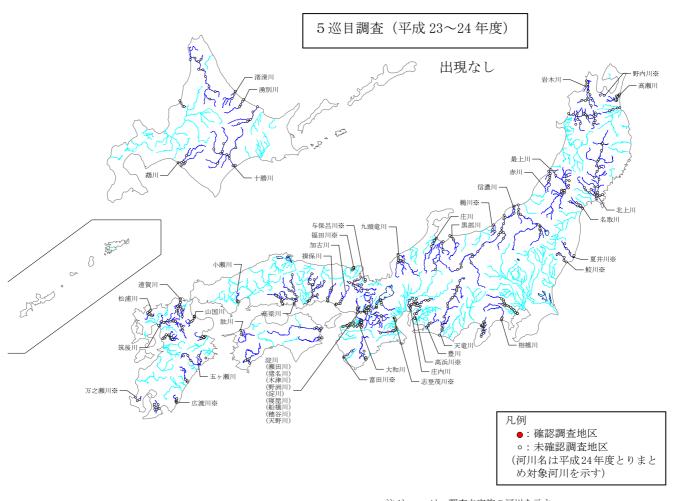
ブラックアロワナの確認された地域(5巡目調査)



レピソステウス属の確認された地域 (1巡目調査、2巡目調査)

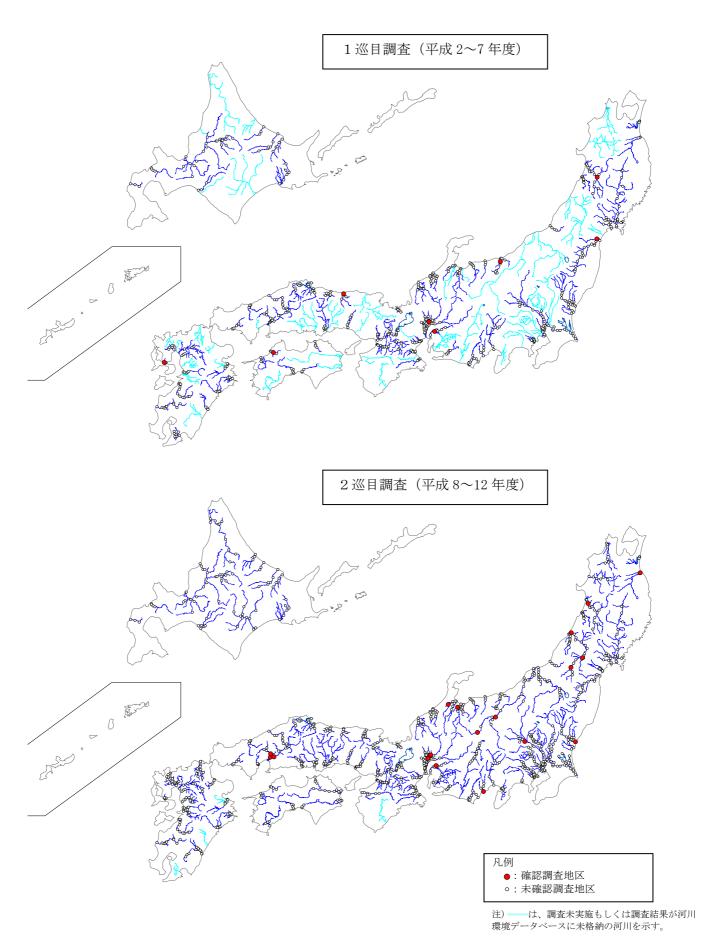


レピソステウス属の確認された地域 (3巡目調査、4巡目調査)

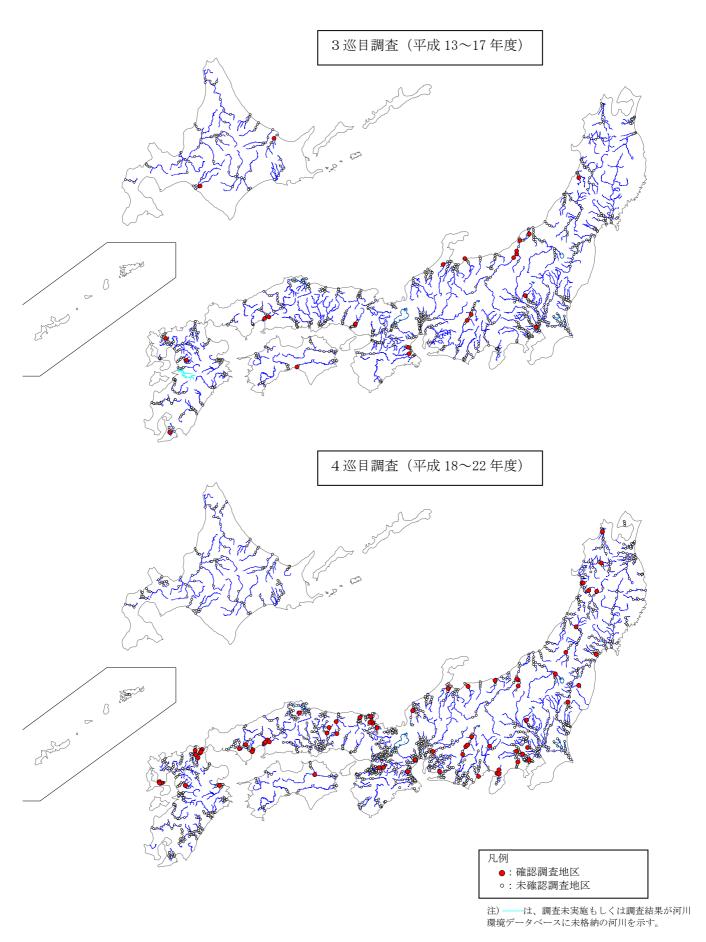


は、調査未実施の河川を示す。

レピソステウス属の確認された地域(5巡目調査)

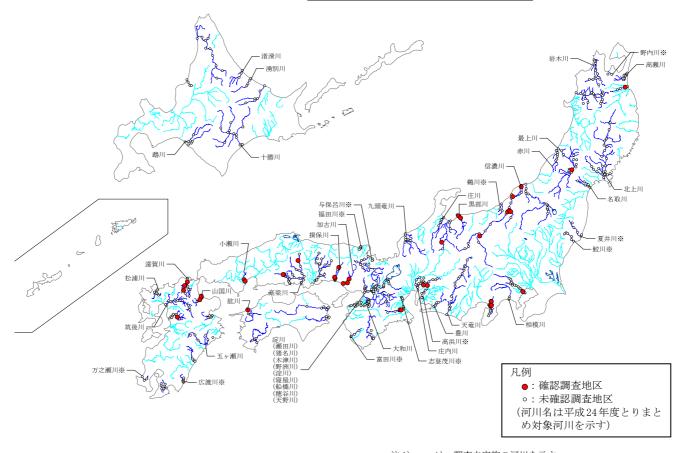


コイ (飼育品種) の確認された地域 (1巡目調査、2巡目調査)



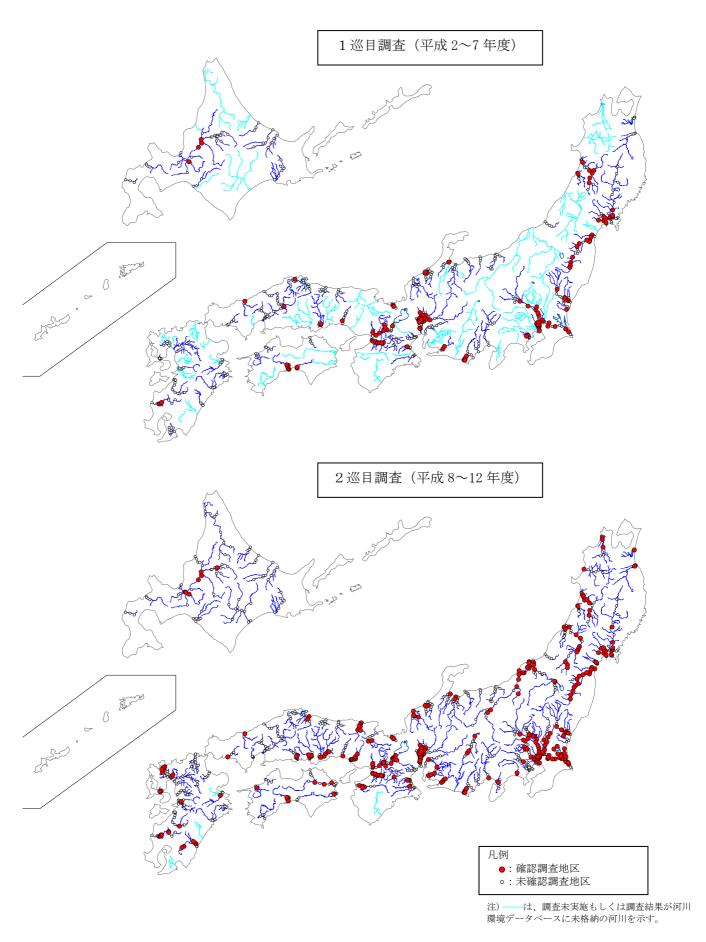
コイ (飼育品種) の確認された地域 (3巡目調査、4巡目調査)

5巡目調査(平成23~24年度)

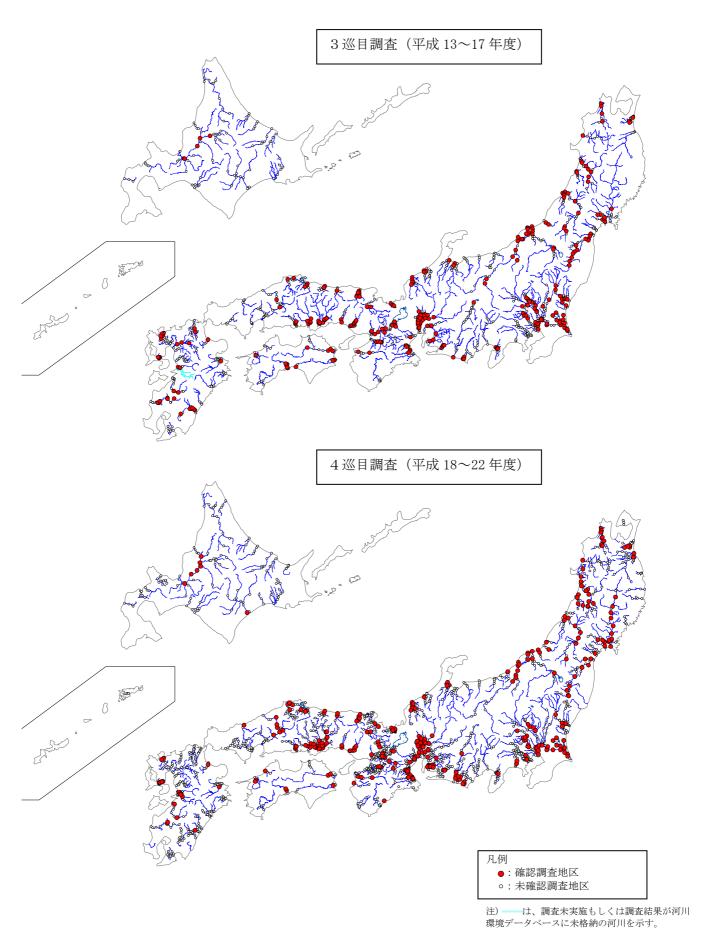


は、調査未実施の河川を示す。

コイ (飼育品種) の確認された地域 (5巡目調査)

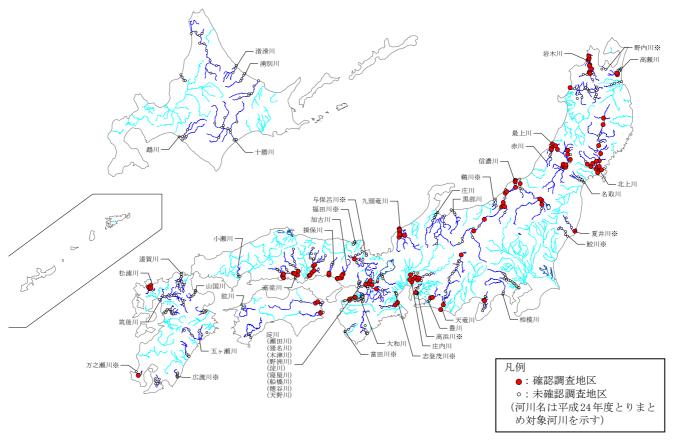


タイリクバラタナゴの確認された地域(1巡目調査、2巡目調査)



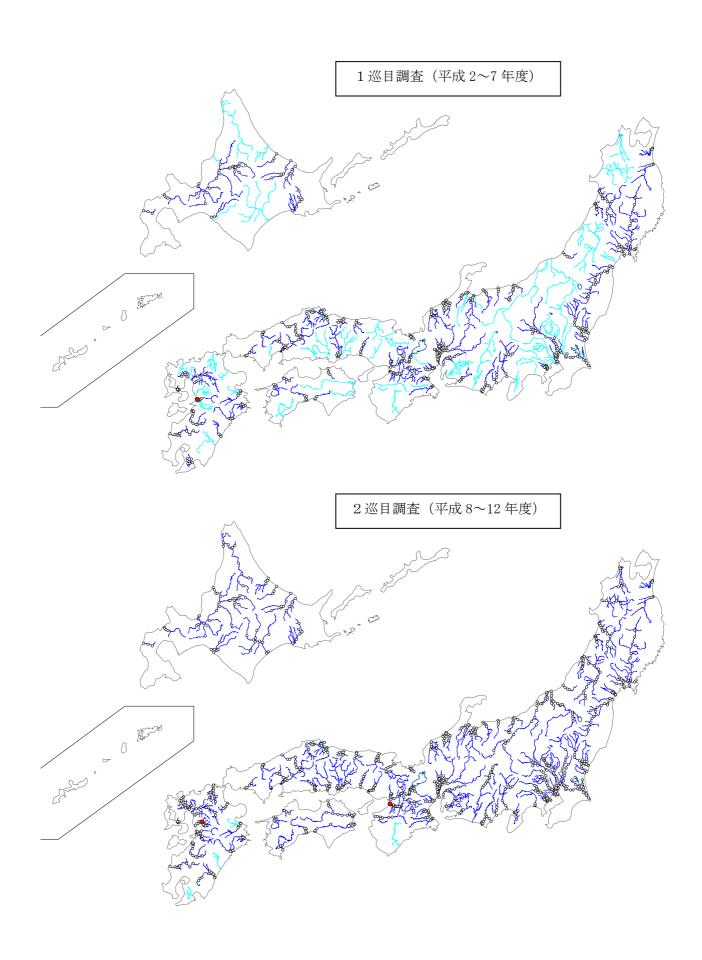
タイリクバラタナゴの確認された地域(3巡目調査、4巡目調査)

5巡目調査 (平成23~24年度)

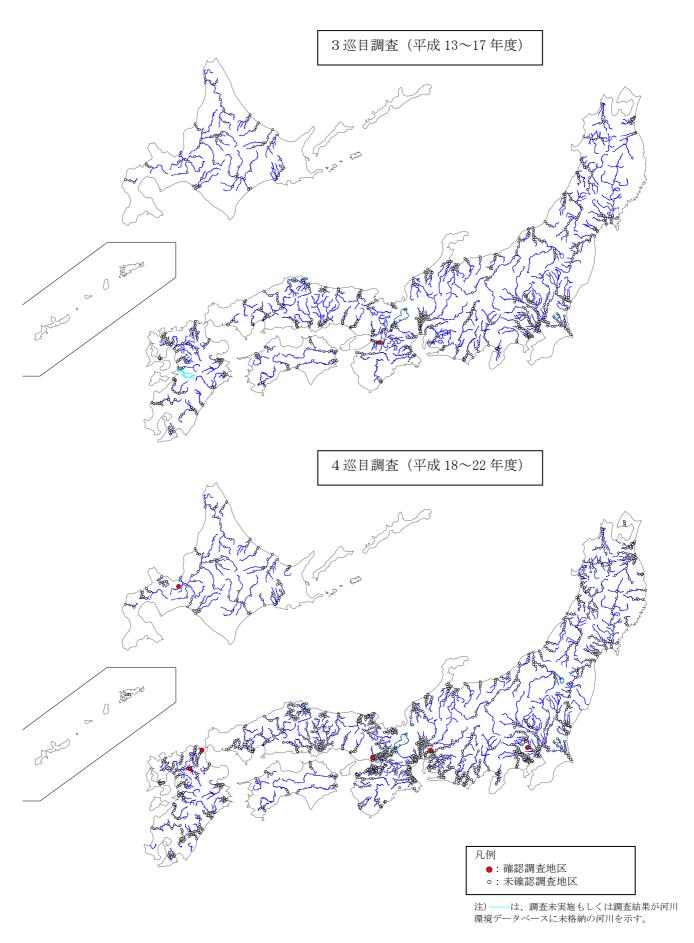


は、調査未実施の河川を示す。

タイリクバラタナゴの確認された地域(5巡目調査)

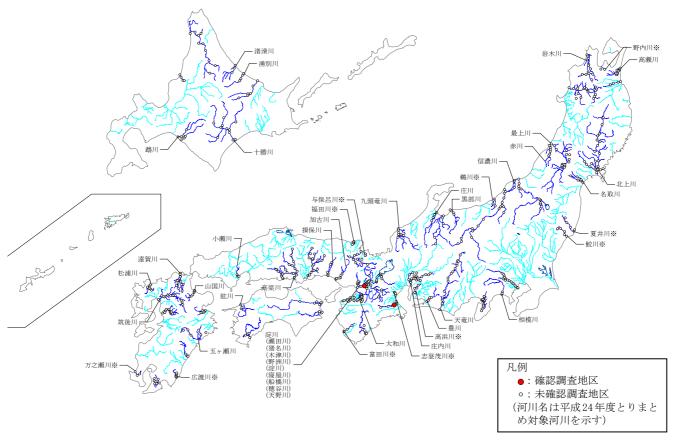


グッピーの確認された地域(1巡目調査、2巡目調査)



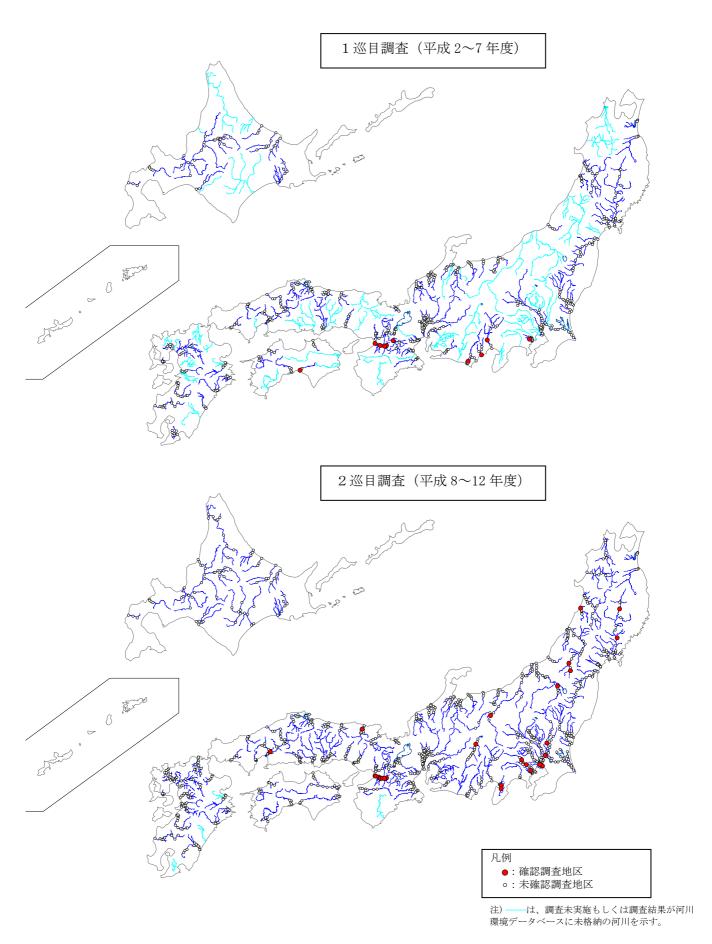
グッピーの確認された地域(3巡目調査、4巡目調査)

5巡目調査 (平成23~24年度)

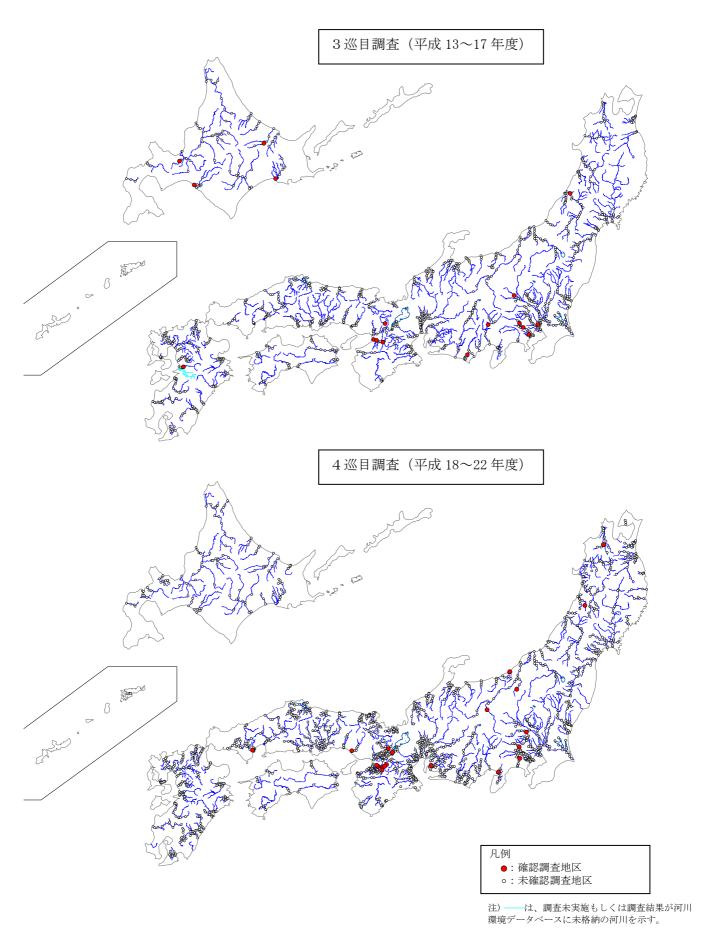


は、調査未実施の河川を示す。

グッピーの確認された地域(5巡目調査)

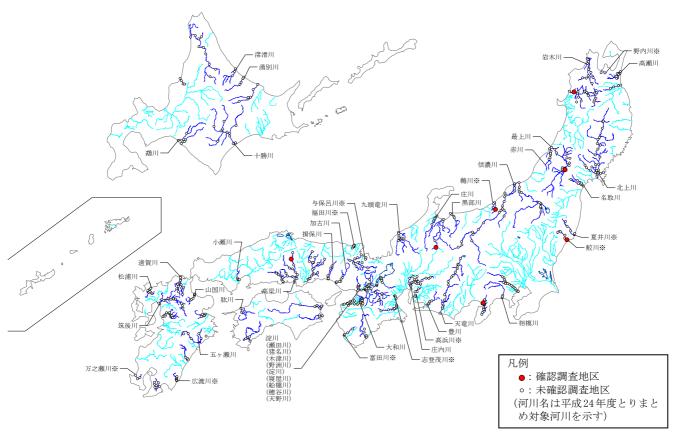


キンギョの確認された地域(1巡目調査、2巡目調査)



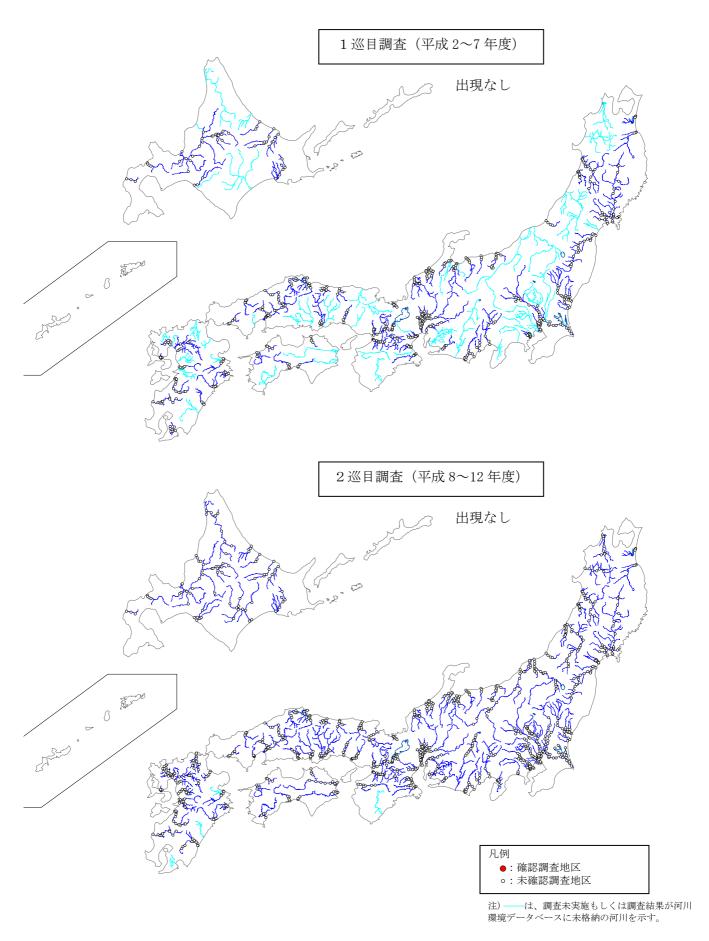
キンギョの確認された地域 (3巡目調査、4巡目調査)

5巡目調査(平成23~24年度)

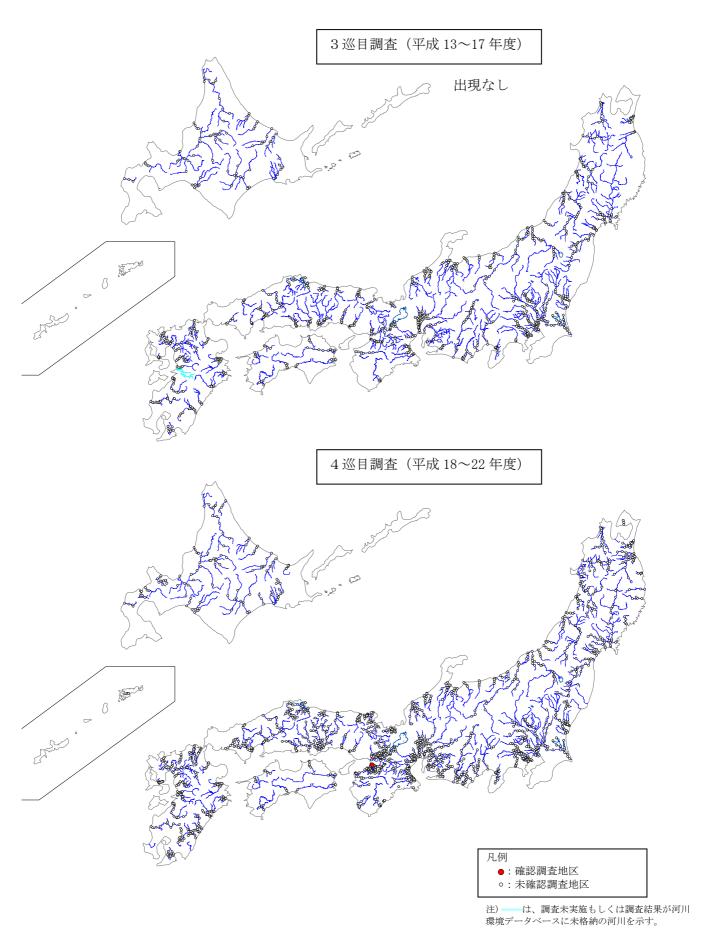


は、調査未実施の河川を示す。

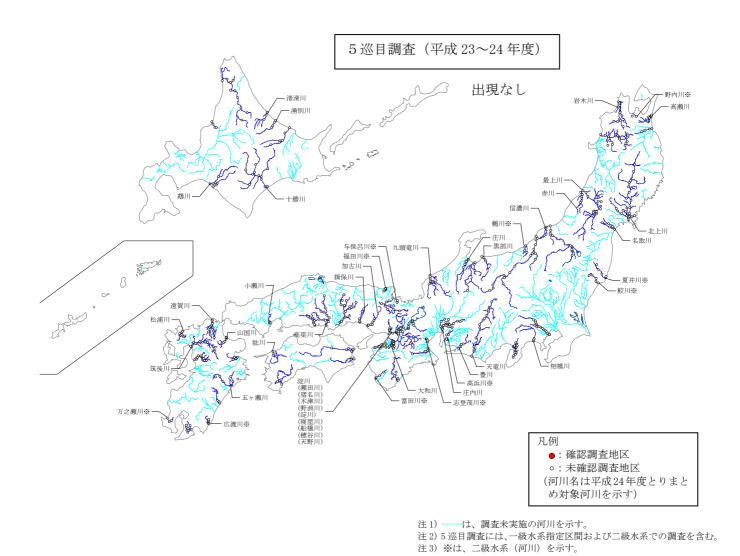
キンギョの確認された地域 (5巡目調査)



パロットファイヤーシクリッドの確認された地域(1巡目調査、2巡目調査)



パロットファイヤーシクリッドの確認された地域 (3巡目調査、4巡目調査)



パロットファイヤーシクリッドの確認された地域 (5巡目調査)